



■ ～動脈硬化～血管の状態を知り生活の改善を～

動脈硬化

～血管の状態を知り生活の改善を～

今回は、産婦人科におかかりの患者さんだけでなく、旦那さんや他のご家族の方など、みなさんに知っていただきたい「動脈硬化」についてお話いたします。

血液が流れる動脈の壁は、弾力があり柔軟性があります。しかし、血管壁の老化に伴い弾力や柔軟性が失われ動脈硬化症という病気を起こすことがあります。心臓の動脈が硬化すれば心筋梗塞や狭心症などになり、脳の動脈なら脳梗塞などの脳血管障害につながり、生命にかかわる病気を引き起こすことがあります。



この病気の原因の多くは高脂血症によるものです。また、喫煙、飲酒、塩分の多い食事、ストレスなどによっても促進されます。

この動脈硬化症を早く知ることのできる検査が、ABI: 足首と腕の血圧比とPWV: 脈派伝播速度です。聞きなれない言葉ですが内容はいたって簡単です。



ベッドに横になって両腕と両足首の4カ所に血圧測定用のカフを巻き、心電図用の電極を腕に、心音図用のマイクロフォンを胸に装着します。足首と腕の血圧を同時に2回測定して数値を測ります。検査時間は10分程度で、痛みもありません。



この様な簡便な検査で自分の血管の状態を知ることができるので、生活習慣を見直すきっかけにもなります。血圧や食生活などに不安のある方は、内科を受診しこの検査を希望してみても如何でしょうか。

担当: 検査課 西尾 弘美